



海上安全環境部 船舶安全環境課 係員
令和3年度 採用（船舶系技術職員）

【略 歴】

令和3年4月 海上安全環境部
令和4年4月 海上安全環境部 船舶検査官
令和5年4月 海上安全環境部 船舶安全環境課

※所属、職名、内容などは令和5年6月現在のものです。

現在の仕事内容

- ・船舶検査に関する事務（申請の受付・証書の交付等）
- ・船舶安全法に関連する事務（危険物・事業場の認定関係）
- ・廃油処理に関する業務（事業者への立入や届出の進達等）

Q. 船舶系技術職員を志望した理由は？

学生時代は工学部で機械工学を専攻しており、学んだ内容が活かせる仕事に就きたいと考えていました。公務員試験の合格発表後に運輸局の船舶系技術職員からリクルートの電話をいただき、船舶系技術職員の業務について知りました。機械系でもエンジン等学んだ内容は活かせることや、安全を守る業務の大切さを知り船舶系技術職員を志望しました。

Q. 仕事のやりがいは？

船舶検査というのは、自身の技術的な知識・経験を使いながら航行の安全を守っていくものであり、社会的意義のある重要な仕事です。何事もなく船が運航されていることが成果であり、日頃は感じにくいものですが、とても重要なことです。昨年行っていた検査官はもちろんのこと、検査事務も同様にそのことに貢献できる仕事です。検査で関わった船が無事に動いているのを見ると達成感を感じます。

Q. 職場の雰囲気は？

役所ということもあって、採用前は堅苦しい雰囲気を想像しておりましたが、イメージより自由な雰囲気です。年次休暇、育児休暇等とはりやすい環境になっていて、ワークライフバランスにも配慮されています。時差出勤等も選択できるため、自分に合った働き方が選べます。

Q. 1日の仕事の流れ

(検査事務)	(検査官)
8:30 出勤、庶務 船舶安全環境課の業務は多岐にわたります 国土交通省本省からの調査、リクルート、新人教育等日によって仕事が大きく変化します	8:30 出勤 日によっては現場に直接向かうこともあります
11:00 検査申請の受付 船舶検査の申請書の内容や添付書類についてチェックを行います	9:00 移動 公共交通機関または車を使って移動します 行き先は造船所、工場などです
12:00 昼休み 庁舎周辺や庁舎内の食堂で食事をとります	10:00 造船所に到着、検査 船の中を回り各設備に異常が無いかチェックします 何かあれば指摘を行い後日は正されたことを確認します
13:00 決裁文書作成 課に届く申請や届出には国土交通省本省への進達や届出が必要なものがあります それらの書類をチェックして送付するための手続きを行います	12:00 移動・昼食 移動経路の途中にあるお店で昼食をとります
17:15 退庁	14:00 帰庁 現場で検査した内容を整理し、検査手帳などの書類を作成します 17:15 退庁

Q. 就職活動中の皆さんへのメッセージ

就活生にとって働くということはイメージしづらいものかと思います。業種や職業、職場などによって働く環境は大きく変わってきます。自分にとって納得できる就職をするために、様々な業界や職場について調べることをおすすめします。船舶系技術職員については、大学等で船について学んだ方だけでなく、機械系の私のように他の分野からも採用されます。未経験であっても研修やOJT等手厚いサポートがありますので、就職先の候補としてご検討いただけますと幸いです。